

松原公園とは？

銅像園は「松原公園」とも呼ばれ、戦後、神野公園と並び佐賀市に二つしかない風致地区のひとつに指定され、平成23年に歴史公園「松原公園」として改めて整備されました。

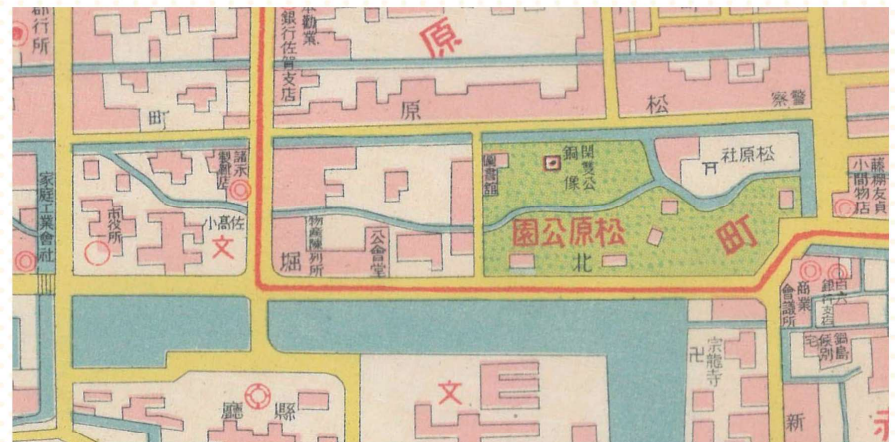


争により直正公の銅像は供出、台座は移設され、大正～戦前期の松原を象徴した旧銅像園^{ひきあげしゃ}一帯は、戦後は戦地からの引揚者の生活の場となりました。

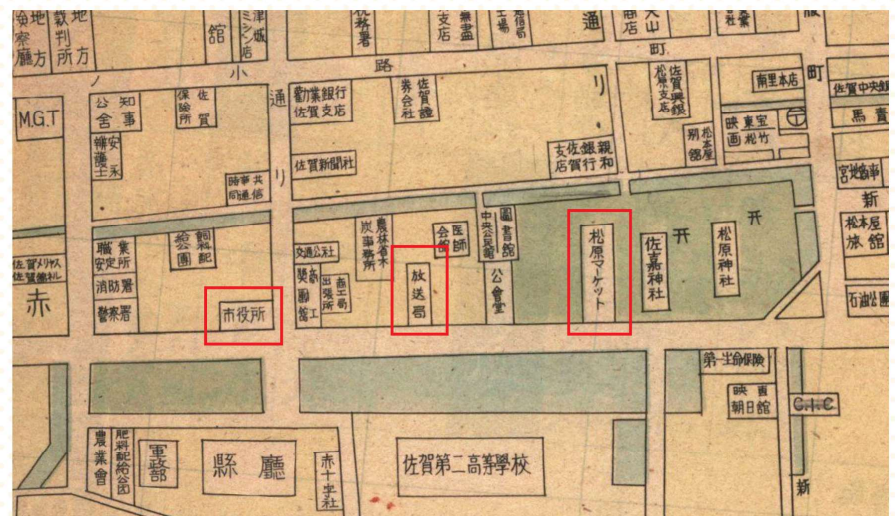
やがて路地に沿って生鮮品をはじめ様々な店舗が並ぶ「松原マーケット」が形成されます。一方、佐賀市は戦後まもない昭和25年(1950)に、「松原公園一帯は各種の樹林を配して市民絶好の散策^{らく}慰楽の地」とし、その保存を目的として、ここを「松原公園風致地区」に指定しました*。

*都市計画決定申請図書 昭和25年(1950)

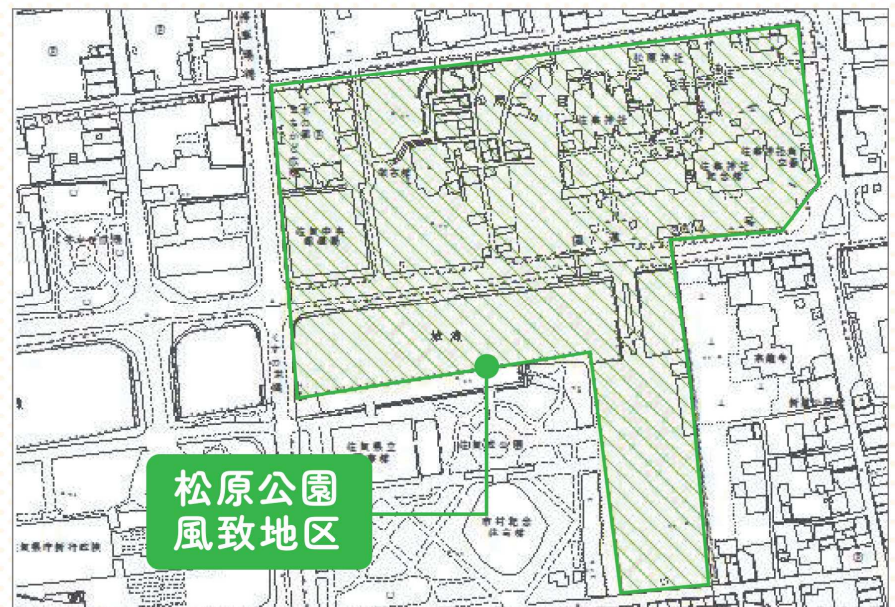
やがて平成に入り、マーケットでは役割を終えた店舗が次第に姿を消し、平成23年(2011)に佐賀市により歴史公園「松原公園」が改めて整備されました。銅像が建立された大正2年(1913)から100年を経て、かつて銅像園を構成していた徴古館や弘道館記念碑の視認性が向上し、植樹により松の樹が松原に戻るなど周辺環境が美化され、人びとが憩う「松原らしさ」が見直されるようになりました。



佐賀新市街地図 大正14年(1925)
佐賀県立図書館所蔵



最新佐賀市内地図 昭和23年(1948)
佐賀県立図書館所蔵



松原公園風致地区位置図